

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき鳳		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 3日		2024年 10月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの「やってみたい」「行ってみたい」を取り入れた様々な体験を通して、社会生活に必要な力を伸ばす支援を行っている。	放課後は、その日にやりたいことを子どもたちで話し合っ選択してもらった機会を作っている。 長期休み期間中は、生活スキルの向上、運動、適切行動、対人コミュニケーション、仲間作りなどを組み合わせた支援プログラムを毎日行っている。 初めての事や場所では、予め視覚的に見通しを立てるなど、不安や緊張の緩和に努めることで集団に沿った行動が出来るように配慮している。	体験型イベントの充実。 子どもたちの参画。
2	室内活動だけでなく、公園等でおもいきり身体を動かして遊ぶ機会が多い。	短縮授業日等は戸外で身体を動かす活動を多く取り入れている。	気候や天候で戸外遊びが制限されてしまった場合でも室内で身体を動かして遊べる設備の充実。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様が実際の支援の場面を見る機会や、保護者同士の交流の機会が少ない。	年に1回の保護者懇親会を行っているが、参観は行っていない。また、保護者会は平日の午前中に開催するので、就労により参加出来ない保護者様が多い。	保護者会に合わせて参観の機会を作る。 保護者様が参加しやすい曜日や時間帯での開催を検討。
2	保護者様やきょうだい支援の機会が少ない。	年に2回、家族様も参加できるイベントを開催しているが、コロナ期間中は中止していたこともあり保護者様の認知度が低い。	お便り、SNS等での発信や直接お声がけするなど周知に努める。 家族も一緒に楽しめるイベント内容の充実。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	かみひこうき風
------	---------

公表日 2024年10月28日

利用児童数 2024/9/1 21名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2		3	・活動に応じて1階と2階を分けられていて 伸び伸びと過ごせていると思う。 ・室内での活動の様子を見ていないのでわか らない。	今年度より、ご家族様が子どもたちのデ イでの様子を参観できる機会を設けま す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	・その日に何人の児童が居るのかわからない ので適切かどうかは判断できないが大丈夫だ と思う。 ・1日の利用人数の上限が設けられているの で利用する人の人数や特性、活動の内容に よって適切に配置されていると思う。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	1	2	○×の記号や字や絵などで示す配慮があり、 子どもたちにわかりやすい生活空間になっ ていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				きちんと整理整頓されていて子どもたちが好 きな遊びや活動を自分で選択して行動できる 心地よい環境になっていると思う。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	14	1			・小さい頃から子どもの事を親以上に理解し 接していただいていると思う。 ・いつも子供の心に寄り添いながら生活や遊 びの中でポイントをしっかりと押さえ支援して 下さっている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12	1	1	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	15				子どものことをよくみて、とても理解して作 成して下さっている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	13	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	11	4			色々な経験をさせてもらっている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	8	1		6	大学生とかみひこうきの合同イベントがあり ました。また、地域の公園やお買い物に出掛 けたりするので触れ合う機会はあるように思 う。	近隣の大学との交流イベントを年2回 行っています。近所の公園遊びでは地域 の子どもと一緒に遊ぶこともあります。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	15				お忙しい中、丁寧に説明してくれた。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	14			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	7	2		6		・家族支援プログラム等は、今後の検討 課題です。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	15				・その日の子どもの様子を詳しく伝えてくれ ています。 ・送迎時や連絡帳などでその日の様子を教え てくれたり、LINEで写真を送ってくれるの で、楽しんでいる様子や成長が良くわかる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	4			・適切にアドバイスをしてくれます。 ・気付いたことがあればその都度、こんな姿 が見られたのでこのように対応したとお話し してくれる。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				いつも、子どもの主体性を大切にしながら支 援してくれている。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	4		・毎年秋に保護者会を開催しています。 今年度からは、きょうだいも参加できる参観の機会を設けます。 ・年2回開催している近隣大学との交流イベントは、ご家族・ごきょうだいの参加も大歓迎です。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		「至らない事や何かあればいつでも仰ってくださいね」と何度か声をかけてくれたので、そのような受け入れ態勢が整っていると思います。	・ご相談や申入れは常時受け付けております。 ・ご相談を受けた職員がその場で判断できない場合は一旦持ち帰り、管理者が迅速に対応をしています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				LINEや連絡帳でやり取りしたりお手紙を入れてくれることもある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	2	4			活動概要や行事予定は毎月の利用予定表や通信・SNSで発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	6	良くわからない事もあるが、大雨や台風時には警報発令時のお手紙を再度入れてくれた。	・各マニュアルの策定をしています。 ・全マニュアルを保護者様へ周知することは出来ていませんが、台風や感染症の発生時は必要な情報を個別にお知らせしています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		3		・利用児も参加する消防訓練（火災想定・地震想定）と避難場所までのコース確認を年2回行っています。 ・BCPシミュレーション（地震想定・感染症想定）を年2回行っています（職員） ・普段から近隣の避難場所や商店等まで歩く機会を活動プログラムを通して取り入れています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13		2	設備の点検や災害用の備蓄品の点検など毎月の通信で子どもたちの安全を守ってくれていることが良くなります。	年間計画に沿って施設・設備・外部環境（散歩コースや緊急避難先までの経路等）の安全点検を行っています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14		1	・小さなこともわかりやすく丁寧に説明していただいております。 ・事故などはありませんが、眼鏡が曲がった時になぜそうなったのか状況をきちんと説明してくれた。		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			いつも温かく見守り支援して下さるので、安心感をもって自分らしく居られる場と思う。		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		・子どもは飽きたと言っている。 ・とても楽しみにしています。いく時も帰って来た時も笑顔いっぱいです。 ・とても楽しみにしています。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1		・通い始めて色々な経験を通して色々な人と関わる中でたくさんの成長が見られます。大満足です。 ・いつもありがとうございます。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	かみひこうき風				公表日	2024年 10月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		定員10名に対して適切なスペースがある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		管理者兼児童発達支援管理責任者1名・児童指導員6名・保育士1名・その他従業者2名・運転手1名を利用定員、子どもの状態等に応じて適切に配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	・引き出しには中に入っている物がわかるように写真を貼っている。 ・月間予定やイベント情報はルーム内に写真等を用いて子どもにもわかりやすく掲示している。 ・バリアフリー化はされていない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		1階は運動、遊び等広く使えるスペース、2階は勉強するスペースとして分けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2	個別の部屋は無いが、必要な場合は事務所の一角で対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		定例会議にて目標、振り返り、改善を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		・定例会議にて保護者アンケートの意見を共有し改善できることは迅速に取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・毎年職員セルフチェックを行い、それを元に代表者が面談を行い意見を聞く機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	第三者や外部による評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		内部研修の実施、外部研修に参加する機会がある。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		H P等には未公表。	今年度中に作成、公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2		本人・保護者・児童発達支援管理責任者以外の職員からも広く意見を集めてアセスメントを行い個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援会議にて検討を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		毎日の朝礼時に計画内要、支援方法の確認、前回の振り返りを行った上でその日の支援ポイントを決め、終礼時には計画に沿った支援の結果を職員間で共有、記録している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		その日の行動や状況、特記事項等を「支援記録」に記入し確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		R6年4月から、本人支援の5領域、家族支援、移行支援、地域連携の項目を個別支援計画に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		職員全体、利用者の意見を踏まえて立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		子どもたちの「やってみたい」「行ってみたい」の希望を出来る限り叶えられるようにしている。		

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		基本的には集団活動だが、個々のニーズに合わせて必要な場合は個別活動も組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		朝礼時に支援内容、送迎等について確認し「支援記録」に記入している。後から出勤した職員は「支援記録」を見てその日の支援内容の把握に努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		終礼にて振り返りを行い「支援記録」に記録している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		朝礼・終礼時に「支援記録」をとり検証している。支援内容の改善が必要であれば6ヶ月の期限を待たずに個別支援計画の再立案を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・日々の「支援記録」を検証し見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2		「自立支援・日常生活の充実」「遊びの体験」「地域交流」「こどもの参画」を組み合わせている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		普段から、やりたい活動を選択して取り組める機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		主に児童発達支援管理責任者、主任児童指導員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		必要に応じて連携する体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		下校時刻の確認、行事予定等の情報共有は、学校と直接メール・書面で確認、又は保護者を通じて確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	直接情報共有する機会はほぼ無いが、保護者・相談支援員から情報収集し共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		保護者、サービス事業所からの依頼があれば行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		2	管理者・児童発達支援管理責任者が連携を図り助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2		・地域の公園で地域の他の子どもや学校のお友達と遊ぶ事がある。 ・毎月第3日曜日に地域の自治会館にて子ども食堂を開催し、子ども会や地域の他の子どもたちと関わる機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1		主に、管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		普段の送迎時に伝え合う他に、連絡帳、電話、LINE等で伝え合い共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	支援方法の助言は行っているが、家族支援プログラム、研修の機会の提供は行っていない。	研修等の情報提供は今後の課題。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に説明を行っている。利用者負担等に変更があれば、その都度書面にて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		普段から子どもや保護者の要望を聞き、必要に応じて面談等の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2		児童発達支援管理責任者が行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談を受けた職員がその場で対応できない場合は一旦持ち帰り、管理者・児童発達支援管理責任者が面談等で助言等を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	・毎年11月頃に保護者会を開催している。 ・年に2回、近隣の大学との合同イベントを開催し、きょうだいの参加も呼び掛けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	苦情対応の体制については契約時に説明している。苦情があった場合は迅速に対応し、全職員で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	・活動概要や行事予定は毎月の通信、SNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	・個人情報を含む書類等は鍵付き書庫に保管している。 ・通信やSNS等に写真を掲載する際は、個人が特定できないように配慮している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	・言葉で伝わりにくい時は絵カード等の視覚支援を行っている。 ・活動の様子を写真に撮り保護者へ送っている。 ・連絡事項等は、後で見返せるようにお便りやLINEでお伝えしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	・近隣の大学との合同イベントには、地域住民も招待している。 ・月1回開催している子ども食堂では、子ども会、自治会、商店、ボランティア等、様々な地域の方が参加している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	各マニュアルの策定、訓練の実施、職員への周知を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	BCPを策定し、非常災害発生に備えたシュミレーションを年2回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	契約時に確認している。受診等で服薬状況が変化した場合等はその都度確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	保護者から医師の指示を聞き取りし、それに基づく対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	安全計画を作成し、年間計画を立てた上で施設設備や外部環境の点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	毎月発行の通信に「今月の安全管理」という欄を設け取り組みについて周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	ヒヤリハット報告書は事業所内で回覧、共有した後に、再発防止策について虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会）で検証している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	内部研修・外部研修・新入職員研修を年2回以上行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを整備し、保護者に了承を得た上で個別支援計画に記載、了承をもらっている。 やむを得ず身体拘束を行った場合は速やかに書面にて保護者に報告をし、身体拘束適正化委員会にて解除に向けた検討を行っている。		